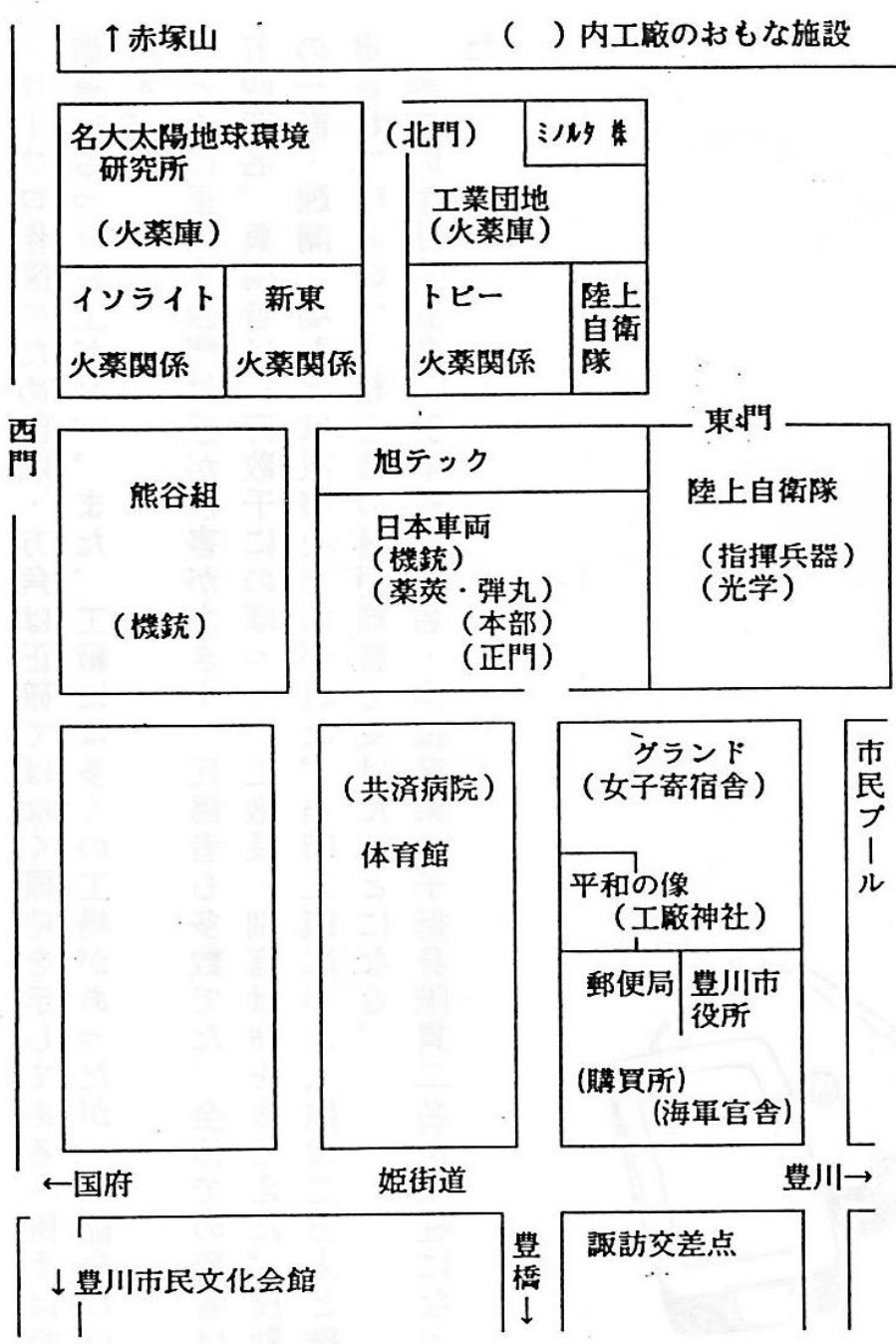


豊川海軍工廠のあらまし

位置 豊川市穂ノ原

施設現旧対比概略図 工廠本部付近



↑ 赤塚山

() 内工廠のおもな施設

名大太陽地球環境
研究所
(火薬庫)
イソライト
火薬関係
新東
火薬関係

(北門) ミルタ 株
工業団地
(火薬庫)
トビー
火薬関係
陸上
自衛
隊

西門

熊谷組
(機銃)

旭テック
日本車両
(機銃)
(薬莢・弾丸)
(本部)
(正門)

東門
陸上自衛隊
(指揮兵器)
(光学)

(空)

(共済病院)
体育館

グランド
(女子寄宿舎)
平和の像
(工廠神社)
郵便局 豊川市役所
(購買所)
(海軍官舎)

市民プール

← 国府

姫街道

豊川 →

↓ 豊川市民文化会館

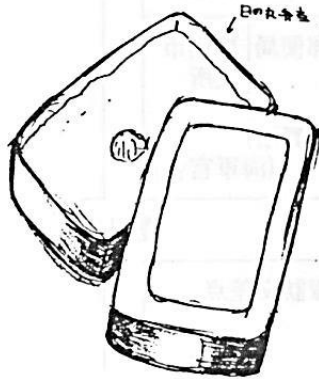
豊橋 ↓

諏訪交差点

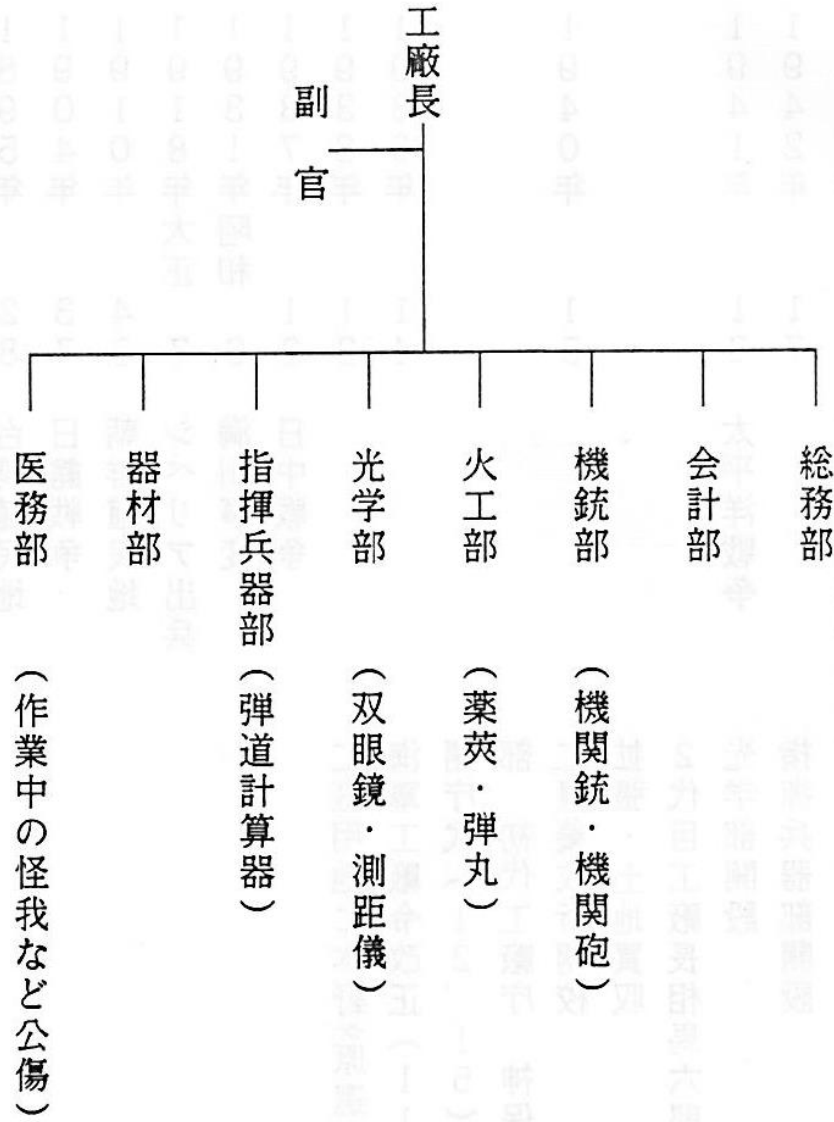
ワイプロ作図のため距離・方角は正確ではなく概略を示してある（例えば姫街道はもっと左上がり）。また、工場には多くの工場があったが、一部分だけ示す。

とくに正門・西門付近が被害が大きく、死傷者も多数でた。全体での死者は五四四名、負傷者は一万数千にのぼった。工場長・副官は命を永らえた。夜勤の一部・疎開工場などは災害をまぬがれた。当時工場にいた人数は二万人と推定されているので、相当数の者が被害を受けたことになる。

本校の生徒三五名・引率教師一名・本校卒業女子挺身隊員二名が犠牲になった。



〔組織〕



別組織として工員養成所・寄宿舍・共済病院など